



多摩交流センターだより

TAMA市民塾 スポット講座のお知らせ

第4回

楽しく知ろう!! オリンピック・パラリンピック

【講師】 いいだ ひろし 飯田 弘 氏

2020年オリンピック・パラリンピック Field Cast、City Cast共通研修講師。東京都レクリエーション・コーディネーター会会長。(一社)東京都レクリエーション協会参与。永年のスポーツ・レクリエーション活動が評価され、2017年「東京都スポーツ振興功労者」として都知事表彰、2018年「生涯スポーツ功労者」として文部科学大臣表彰を受賞。

【内容】 今年、いよいよオリンピック・パラリンピックイヤーです。7月から9月まで開催されるオリンピック・パラリンピックの期間中に来日する外国人は、1,000万人以上と見込まれています。このように世界中の人たちも注目している東京オリンピック・パラリンピックをより理解するために、オリンピック・パラリンピックの歴史や開催意義、オリンピック・パラリンピックを始めた人の想い等を、多くのクイズ等を通して楽しく学びます。また、1964年に開催された前回の東京オリンピックを振り返りながら、記憶にある人・ない人との交流も図りたいと思います。



日時 2020年5月17日(日) 14:00~16:00
場所 多摩交流センター会議室
府中駅北第2庁舎6F(府中市寿町1-5-1)
(京王線 府中駅北口 徒歩3分)
※駐車場はありません。ご注意ください。

申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111(土・日・祝を除く9:00~16:00)

TAMA市民塾 スポット講座・日曜講座 中止のお知らせ

第3回

2020年4月5日(日) スポット講座

花と緑に関する座学 武蔵野の屋敷林を見直そう

講師 椎名 豊勝 氏

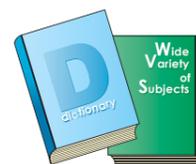
第120回

2020年4月19日(日) 日曜講座

日本絵画にみる「雨と美術」

講師 齊藤 経生 氏

4月に開催予定のスポット講座と日曜講座(「ぐるり39」3月号 No.078 掲載)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたので、お知らせします。



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2020年5月 講義案内

(受講料は会員無料・会員外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
5月7日(木) 14:00から	自然への招待~生態学の視点から	三島 次郎 氏 (桜美林大学名誉教授・元筑波大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
5月14日(木) 14:00から	林芙美子の『晩菊』を読む	岩淵 宏子 氏 (日本女子大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
5月21日(木) 14:00から	ハーブ(香り)の楽しみ方	阿部 啓子 氏 (ジャパン・ハーブ・スクール講師)	武蔵野市西久保コミュニティセンター(予定) (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
5月28日(木) 14:00から	グラハム・ベルとヘレン・ケラーと耳の日	大沼 直紀 氏 (筑波技術大学名誉教授・同大学元学長)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

※本紙「ぐるり39」3月号No.078に掲載(4月講義案内)の下記の講座は中止します。

4月 2日(木) 東京にもあった“関ヶ原の戦い” 教授 葛城 明彦 氏
4月12日(日) プラスチックの今と昔 教授 国眼 孝雄 氏

「多摩交流センターだより」の問合せ先

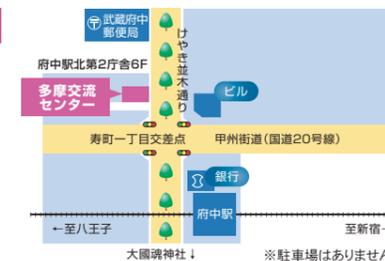
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 4月となりました。桜前線は記録的速さで通過しましたが、4月は出会いの季節です。入学、入社や人事異動などで新たな一歩をスタートさせた方も多いためと思います。当調査会でも職員の異動に伴い新しい体制のもと事業に取り組んでまいります。
- さて、新型コロナウイルスは、昨年12月に中国・武漢で最初に発生が報告されて以降、瞬く間に世界に拡散し、未だ猛威を振るい続けています。今年1月以降、日本を含む全世界で新型コロナウイルスが原因の肺炎で多くの死亡者が出ています。亡くなられた方には心から哀悼の意を表します。
- 新型コロナウイルスの影響は、製造業や観光業などのほか、イベントの中止や縮小をはじめ多方面に出ており、終息が遅れば経済的損失が数兆円に上ると指摘する専門家もいます。今年7・8月に迫った東京オリンピック・パラリンピック競技大会への影響を心配する声も聞かれます。
- マスコミは、増え続ける感染者や重症患者、死亡した方の数などを中心に毎日報道し、発生源をはじめ特效薬がなく未知のことが多いウイルスの、終息が見えない感染拡大に、住民の不安は一層増すばかりとなっています。
- また、新型コロナウイルスを巡っては、ネットやSNSなどを介し、根拠のない情報が多数発せられています。世界保健機関(WHO)は、「インフォデミック(根拠のない

情報の拡散)」という言葉で警鐘を鳴らしています。

- こうした過熱報道や「インフォデミック」に惑わされず、適切に対策を講じていくためには、自然災害の対策と同様、「自助」による取組が重要です。
- そのためには、常に信用できる機関からの最新情報を把握し、正しく理解・行動することが非常に大切となります。
- 厚生労働省のHPでは、感染予防として石けんやアルコール消毒液による手洗い、他に感染させないために、咳やくしゃみをする際には、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる「咳エチケット」が有効であると紹介しています。風邪やインフルエンザなどの感染症や花粉症対策にも有効です。より効果を高めるためには、正しいマスクの着用・動作を身に付けることが肝心です。
- ここ数年、異常気象による集中豪雨や台風被害が頻発するとともに、近い将来、首都直下型地震や南海トラフ地震の発生が予想されています。新型コロナウイルス発生直後から、アルコール消毒液やマスクの品切れが相次ぎ、購入できない状況が続いています。
新しい年度がスタートするに際し、いつ起こるかわからない重大な災害への備えの重要性と再点検の必要性を再認識し行動したいと思います。

(K, K)